

1 調査名称：城陽市総合都市交通体系調査

2 調査主体：京都府城陽市

3 調査圏域：城陽市管内

4 調査期間：平成27年度（～平成28年度）

5 調査概要：

本市は、新名神高速道路や京奈和自動車道の交通軸が交差する広域的な交通網の要所に位置しており、平成28年度末に新名神高速道路の城陽－八幡間の開通を、平成35年度に全線供用を控え、市内の交通流の変化が予想される。

一方で、市域の都市計画道路は、昭和56年より順次決定され、現在17路線が計画決定されているが、整備率は約44%（平成26年度末）で、既成市街地内の狭幅員道路を含めて道路ネットワークの形成が課題となっている。

また、現在、市内では、東部丘陵地整備や久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業、白坂テクノパークなど、将来に向けたまちづくりが各所で進められ、適正な道路ネットワークが求められている。

そこで、将来のまちづくりを鑑みた適正な道路ネットワークの構築を行うため、市内の道路網を検証し都市計画道路網の見直し検討を行う。

I 調査概要

1 調査名称：城陽市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

序章 業務概要

- 0－1 業務目的
- 0－2 業務対象地域
- 0－3 業務内容と業務フロー

第1章. 基礎事項の整理

- 1－1 市街地の変遷と都市計画道路の変遷
- 1－2 幹線道路の整備状況及び充足判定
- 1－3 都市計画道路の進捗状況
- 1－4 今後の都市開発と幹線道路の計画状況
- 1－5 幹線道路網の現状課題の抽出

第2章. 現況交通量の把握及び将来予測

- 2－1 幹線道路の現況交通量の把握
- 2－2 現況幹線道路ネットワークの現況再現
- 2－3 幹線道路の将来交通量の予測
- 2－4 幹線道路網の定量的課題の抽出

第3章. 計画幹線道路網の検証

- 3－1 見直し案の作成
- 3－2 見直し案の検証
- 3－3 今後の課題

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

該当なし

II 調査成果

1 調査目的

今後の城陽市のあるべき道路網の姿を検討するため、都市計画道路等の状況を踏まえ、既決定路線の見直しも含め、市域全体の都市計画道路網の見直し案の策定を行う。

2 調査フロー

1. 現況幹線道路網の検証

都市計画道路等の整備状況、現況交通量の把握、課題整理

2. 計画幹線道路網の検証

将来交通量予測、課題整理

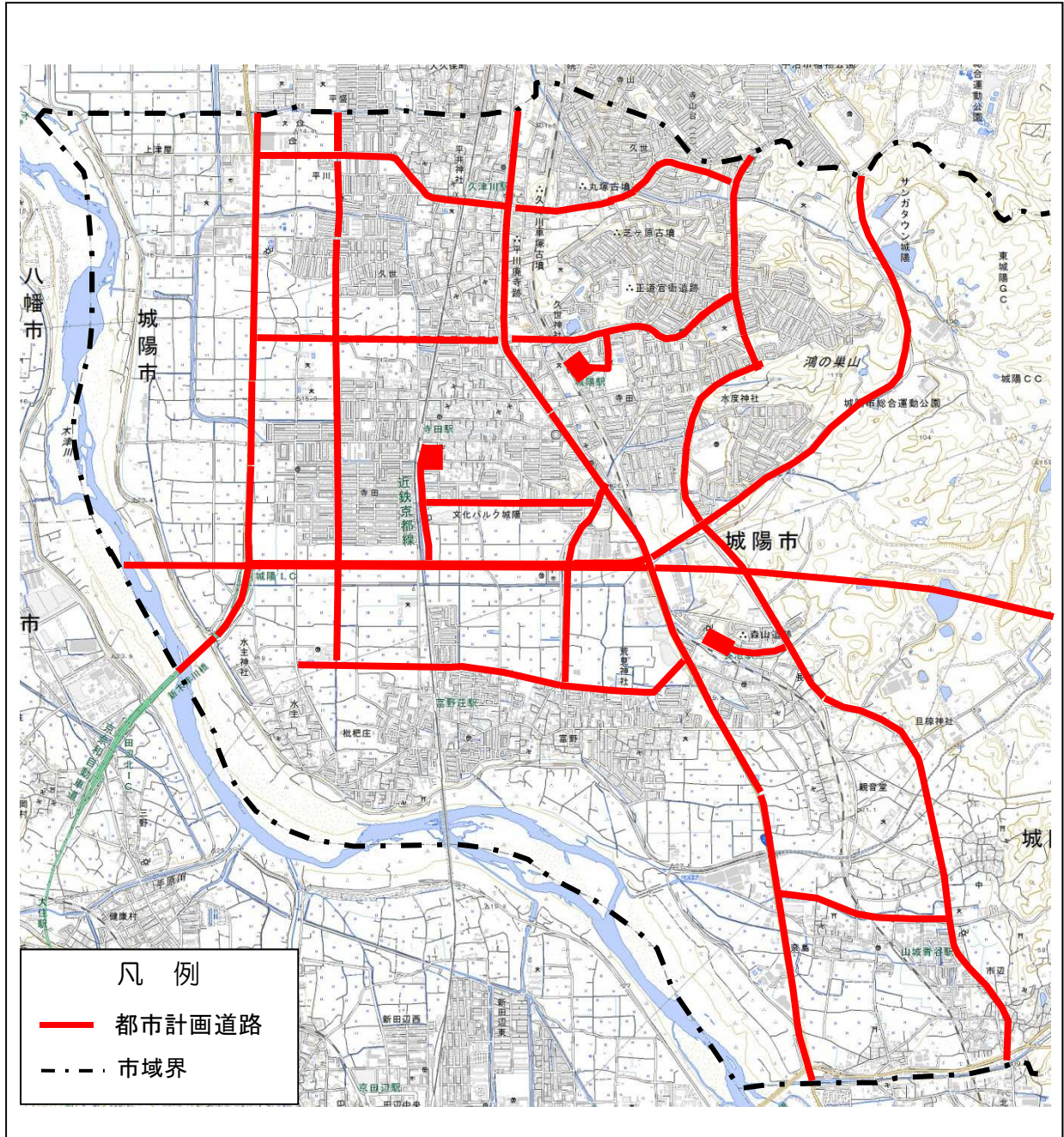
平成28年度以降



3. 都市計画道路網見直し案の検証

広域ネットワークの検証、社会的要因を踏まえた存続廃止の評価
整備優先度の検討等

3 調査圏域図



4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、または特定の者に不当に利益を与えもしくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。